

①からだの指導とは

からだの指導では、児童生徒の心身の調和的発達を図りながら、主に、運動機能障害による学習上又は生活上の困難を、児童生徒が主体的に改善・克服できるように取り組みを進めています。

②からだの指導担当の役割

〈入込指導〉（自立活動の時間における指導）

一人一人の課題に応じた個別の指導を、担任と専任が一緒に行う指導

〈入込指導〉

体育や学級の授業等へ入り込み、担任と専任が一緒に行う指導

〈担任との連携〉

- ・授業づくりや教材について
- ・肢体不自由に関する情報発信
- ・補装具や車椅子等に関する相談
- ・主治医訪問等の外部連携
- ・全校研修の計画・実施

〈保護者との連携〉

- ・授業参観や担任を通じて保護者の悩みや相談を受け、学校と家庭での支援の共有を図る。
- ・補装具や車椅子等に関する相談

〈医療との連携〉

- ・医療専門職派遣事業の活用
- ※PT（理学療法士）をお招きして助言や講義をしていただき、日々の指導に活かせるようにしています。
- ・学校医、保健室との連携（整形外科相談…月一回）

③指導の実際

主に自立活動6区分の「身体の動き」の5項目に視点を置き、個々の実態に応じて取り組んでいます。姿勢や運動の発達を踏まえながら、日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにすることを目指しています。



※上記の5項目に関することを中心として他の区分・内容と関連付けて指導を行います。

姿勢・運動学習

児童生徒それぞれの身体に関する課題に応じて、いろいろな姿勢をとったり、主体的に身体を動かす運動に取り組んでいます。

・姿勢の学習

側臥位 腹臥位 よつばい肢位
膝立ち 端座位 立位 他

・運動の学習

体幹回旋をともなう運動 ずり這い
歩行訓練 筋力の維持・強化
重力免荷装置 他

リラクセーション学習

筋肉の硬さを緩め、関節を動きやすくすることで血行を促進し、動きやすい身体をつくります。

また、次の学習に向かうために身体の緊張を解きほぐし、気持ちや身体を整えたりします。



④からだ学習室・教材紹介



教具の工夫

児童生徒が学習に意欲的に取り組める姿勢づくりができるように相談・対応しています。



工夫例

児童生徒椅子の座面

骨盤が前傾または後傾することを抑制し正しい姿勢で座ることができるように、滑り止めマットを敷いたりマットを加工して座面を安定させます。



ウォーカー

歩行時に軸足に逆の足があたるため、保護者、担任、医療等と連携してより自分で足を動かしやすいように座面の幅を大きくします。



カットアウトテーブル (児童机ver)

机に切り込みを入れて腕や肘を乗せることで体幹を安定させて座ることができるようになります。



マット



リラクセーション学習や姿勢・運動学習に安全にかつ、ダイナミックに取り組むことができるようにエアレックスマットを使用しています。



ボール



サイズや感触、空気の入り方等が違いたくさんのボールがあります。

リラクセーション学習のような静的な活動はもちろんのこと、乗って跳ねたり骨盤の回旋運動をする動的なトレーニングでも活用しています。



トレーニング・リラクセーショングッズ



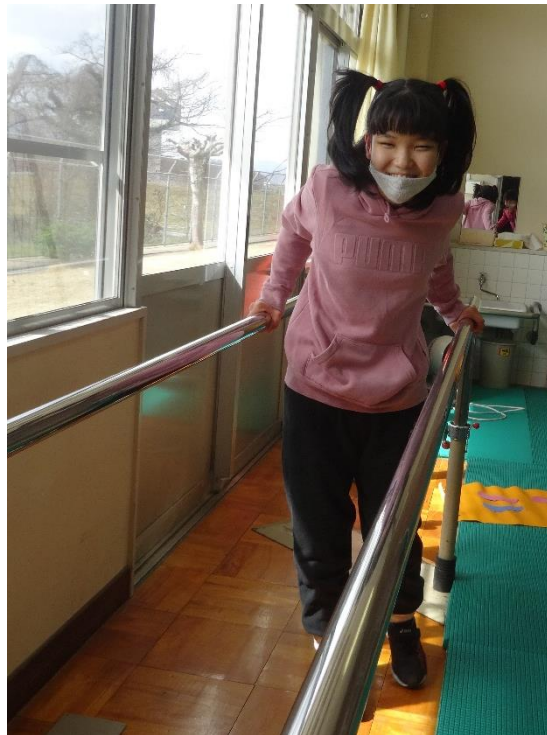
バランスパッド、ストレッチポール、丸太、半丸太、ドレミマット、バランスボード、バランスクッション等
上記以外にも様々な教具があります。



平行棒



腕で身体を支えながら立位姿勢をとったり歩行練習をしたりすることができます。



重力免荷装置



重力や自分の体の重さを軽減してくれるため、日頃は一人でできない立位等の姿勢学習や屈伸等の運動をコントロールするための学習を進めることができます。

